

令和4年度
事業報告書



安心を創る
—まちで働く・まちで暮らす—

社会福祉法人シンフォニー

利用者、職員が地域社会の中でともに働き・活動することにより障害理解を促進し共生社会の実現を図る

3年に亘るコロナ禍による飲食部門の大幅な売上減少により赤字解消のため、やむなくA型事業からB型事業に移行するとともに、年度末にはコンパル店が27年間の営業を終了したが、就労支援そのものには力を注いだ1年であった。その結果、旧A型利用者の手取り額の減少は避けられ、従来から利用されているB型利用者の工賃についても前年度を上回るとともに目標工賃を達成することができた。さらに今年度も就職者を1名送り出すことができた。

一方、諸物価高騰の影響により見積額の大幅な増加に対する予算不足で入浴設備の増設を次年度に見送ったり、地域交流などもコロナの影響が解消されず計画通りに実施できなかった。

① 適性と希望に応じた就労支援・就職支援

- B型から一般就労等への移行支援
 - 多様な働き方の機会提供と就職情報等の提供
- 目標工賃の達成による就労意欲の向上
- 就職者との紙面・WEBを活用した交流・定着支援

- 就労継続支援B型事業報告の詳細については、「コンチェルト」「コンチェルトもりまち」を参照。
- × 就職者との交流は、シンフォニータイムズの配付に留まった。詳細は「コンチェルト定着支援事業」を参照。

② 感染症対策の継続

- マスク・手洗い・換気・黙食による基本対策の徹底
- 希望者に対するワクチン接種等の支援

- マスク着用・手洗い励行・換気・黙食等の基本対策を徹底するとともに、利用者・職員・来訪者の検温やアルコールスプレー等による手指消毒等の感染対策を行うことによりクラスターの発生を防ぐことができた。
- ワクチン接種会場の運営を行い、希望する市内の障害者・家族・職員が安心迅速に接種できるよう計2回、延べ529人のワクチン接種を実施 ※ 1～5回延べ2,390人

③ 地域との連携による防災対策と各種地域活動

- 地域と連携した防災計画の策定と訓練の実施
- 地域活動の再構築に向けた企画・実施・参加
 - 例：ふれあい収穫祭
 - 地域行事等への参加

- × コロナ禍の影響が続き、従来のような地域交流が回復せず予定した防災計画の策定には至らなかった。現在は炊き出しなどの合同災害訓練を5年度に実施できるよう資料等を作成し、地区へ打診中。
- △ 「ふれあい収穫祭」は開催できなかったが、地区と連携して地域住民へ配布する花の育苗、グラウンドゴルフ大会や賀来公民館まつりへの参加など行うことができた。

④社会生活力向上のための支援

- 「社会生活支援」に関する職員研修の実施
- 「社会生活支援」の実践を通じた事例発表



○九知協日中活動支援部会へ支援事例を提出した結果、「社会生活支援事例集Vol.6」に好事例として掲載されるとともに、依頼を受けて九知協種別部会研修会においてファンタジアにおける具体的な支援の取り組みを発表できた。

⑤職員の専門性向上と働きやすい職場づくり

- ホスピタリティが感じられるチームワーキング
- 専門性向上のための基礎研修の実施
 - ZOOMによる職種・役割別研修（各1回/月）



○処遇改善研修の一環として「働きやすい職場づくり」に取り組む中で、チームや職種別等の「話し合い」、「カード」を活用した意思疎通及び困りごとの早期改善によりチームワーキングの向上を図り、働きやすい職場づくりを進めることができた。

○当初の事業計画には示されていなかったが、職員ひとり一人が、この一年間自分なりに頑張ってきたことなどをシートへ記入することを通して、一年の振り返りを行うことができた。

※R5年度からは、事業計画案作成時に「振り返りシート」を全職員に手渡し、目標を持って働きやすいように変更。

⑥入浴環境の充実・整備

- 入浴希望者の身体状況等に応じた浴室の改修
- 職員の介護負担軽減と労災予防対策

×利用者の身体状況等に応じたシャワー設備を増設することにより、利用者の入浴環境の充実と職員の介護負担の軽減等を図る予定であったが、諸物価の急激な高騰により予算していた額と見積額に大幅な開きがあり、次年度実施とした。

⑦役員会等の開催実績

- 理事会：6月 10月 12月 3月
- 評議員会：6月 11月 3月
- 福祉サービス運営委員会：6月 10月 3月



○計画通りに実施できた。※詳細は別紙

理事会	： 5月・ 9月・11月・ 2月	計4回開催
評議員会	： 6月・ 9月・11月・ 3月	計4回開催
福祉サービス運営委員会	： 6月・ 3月	計2回開催

(1) 理事会開催実績

開催日	実施内容	出席者
第1回 令和4年 5月30日 (月)	第1号議案 令和3年度事業報告 第2号議案 令和3年度決算報告 貸借対照表 資金収支計算書 事業活動計算書 財産目録 附属明細書 ・監事監査報告 ・総資産の登記 ・社会福祉充実残額 第3号議案 評議員会の招集 [報告] ①業務報告 ②理事長専決事項	<input type="checkbox"/> 理事 加藤 英彦 淵野 文生 大戸慎一郎 中村 富康 村上 和子 矢野 太亮 <input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博
第2回 令和4年 9月16日 (金) ※書面決議	第1号議案 給与規程、就業規則の変更 給与規程 契約職員管理規程 パートタイム職員就業規則 非常勤ホームヘルパー就業規則 第2号議案 令和4年度第1次収支補正予算 第3号議案 評議員会の招集	<input type="checkbox"/> 理事 淵野 文生 大戸慎一郎 村上 和子 <input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博
第3回 令和4年 11月16日 (水)	第1号議案 理事候補者の選定 第2号議案 事業体系変更について 第3号議案 評議員会の招集 理事の選任 [報告] ①業務報告 ②理事長専決事項	<input type="checkbox"/> 理事 加藤 英彦 淵野 文生 大戸慎一郎 村上 和子 矢野 太亮 <input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博

第4回 令和5年 2月27日 (月)	第1号議案 令和5年度事業計画 (案) 第2号議案 令和5年度収支予算 (案) 第3号議案 管理者の選任 (1) 矢野太亮 (2) 森淵晶子 第4号議案 運営規程について ・生活介護ファンタジア ・就労継続支援B型コンチエルト 第5号議案 評議員会の招集 [報告] ①業務報告 ②理事長専決事項 ③令和5年度役員改選について	<input type="checkbox"/> 理事 加藤 英彦 淵野 文生 大戸慎一郎 村上 和子 矢野 太亮 森淵 晶子 <input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博
-----------------------------	---	---

(2) 評議員会開催実績			第3回	第1号議案 理事の選任について 第2号議案 事業体系変更について	□評議員 軸丸 勇士 寒田久美子 柏 敏宏 塩崎 政士 仲野 龍男 中野 正幸 惣川 一昭 □監事 林 浩治 水之江正博
開催日	実施内容	出席者	令和4年 11月24日 (木)		
定時評議員会 令和4年 6月17日 (金)	第1号議案 令和3年度決算報告 貸借対照表 資金収支計算書 事業活動計算書 財産目録 ・監事監査報告 ・総資産の登記 ・社会福祉充実残額 [報告] (1) 令和3年度事業報告 (2) 保険加入について	□評議員 軸丸 勇士 寒田久美子 塩崎 政士 仲野 龍男 中野 正幸 惣川 一昭 □監事 林 浩治 水之江正博			
第2回 令和4年 9月28日 (金)	第1号議案 令和4年度第1次収支補正予算	□評議員 軸丸 勇士 寒田久美子 柏 敏宏 塩崎 政士 仲野 龍男 中野 正幸 惣川 一昭 □監事 林 浩治 水之江正博	第4回 令和5年 3月8日 (水)	第1号議案 令和5年度事業計画(案) 第2号議案 令和5年度収支予算(案) [報告] 令和5年度役員改選の日程について	□評議員 軸丸 勇士 柏 敏宏 塩崎 政士 仲野 龍男 惣川 一昭 □監事 林 浩治 水之江正博

(4) 監査			令和4年 11月16日 (水)	令和4年度福祉サービス苦情解決セミナー (web研修参加)	水之江正博
実施日	実施内容	出席者			
令和4年 5月19日 (木)	①決算書 ・財産目録 ・資金収支計算書 ・固定資産管理台帳 ・貸借対照表 ・事業活動計算書 ・決算付属明細書 ②事業報告書 他	<input type="checkbox"/> 監事 林 浩治 水之江正博	令和5年 3月8日 (水) 13:15~ 13:55	第2回福祉サービス運営員会 1、令和4年度の取り組みについて 2、その他	水之江正博 柏 敏宏 矢野 孝美 村上 和子 矢野 太亮 森淵 晶子
(5) 福祉サービスの向上に向けた取り組み			令和4年 4月2日 (土)	<input type="checkbox"/> 処遇改善研修について (※ZOOM研修) ・処遇改善の取り組みについて 各種委員会担当・窓口紹介 ・虐待防止研修 ・身体拘束等適正化に関する研修	
実施日	取組内容	出席者			
令和4年 6月 8月 11月	<i>Symphony Times</i> の発行により、シンフォニーが提供する福祉サービスの内容や実施した行事等の様子などを利用者やその家族に年間通して広報した。 これは、どこで・どのようなサービスが提供されているのかを利用者や家族、法人役員が全事業を通して知ることで、シンフォニーのサービス全体をモニタリングし、サービスの質の向上を図ることを目的としている。		令和4年 5月14日 (土)	・事例提示研修 相談・連絡の仕方 ・経理規程について 小口現金取り扱い	
令和4年 6月17日 (金) 13:15~ 13:55	<input type="checkbox"/> 福祉サービス運営委員会の開催について 第1回福祉サービス運営員会 1、苦情案件の経過報告 2、その他	水之江正博 寒田久美子 矢野 孝美 村上 和子 矢野 太亮 森淵 晶子	令和5年 2月18日 (土)	・2022年度の振り返り 事業計画シートに基づき各所属で振り返り (法人)	

コンチェルト

就労継続支援B型事業

幅広い就労訓練の機会を提供し、多様な働き方を支援することにより就労意欲を引き出し、収益の向上を目指します。

JA産直売り場での「菌床しいたけ」の販売が顕著に向上。コロナ禍での喫茶の売上低迷により、コンパル店を閉店。他店舗については単価の見直しを行い利益確保に努めた。企業への就労訓練の場を求め、企業見学2名、採用試験受験1名が経験することができた。

①工賃の向上

- 目標工賃…平均月額45,000円
- ・毎日産直販売所に毎日出荷
- ・価格や仕入れ率の改善を図る
- ・製造工程の見直しや工期の短縮

○令和3年度、工賃月額21,419円（目標月額25,000円）から令和4年度、工賃月額45,857円（目標工賃45,000円）達成できた。A型閉所（R4.3）に伴い、A型で行っていた作業をB型で引継ぐことができ工賃向上に繋がった。JA産直販売所昨対比104%達成（ラッピングの見直し等）することができた。また、喫茶では原価高騰による価格の見直しも行き売上を確保することができた。

②求職活動

- ハローワーク等の他機関と連携を強化。

○大分県庁等の他機関と連携を大切にし、求職情報等幅広く利用者に告知。その結果企業見学2名、採用試験受験1名が貴重な体験をすることができた。一般就労への意欲や目標に繋がった。

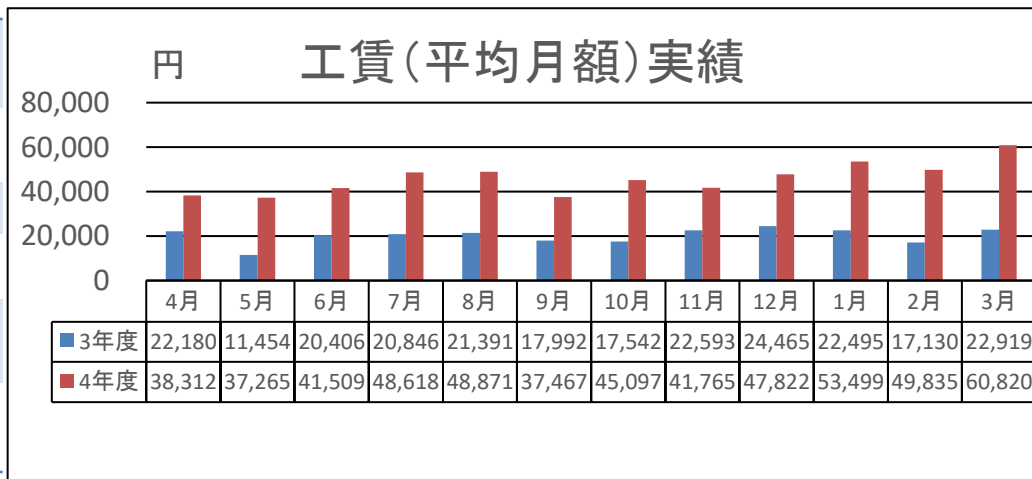
③健康管理

- 家族や医療機関と連携
- 生活習慣の見直し

△急遽の入院に関係機関と連携できた。が、アセスメント等の充実が必要。
△昼食メニュー選択時に同じメニューが続かないよう、栄養バランスを説明し偏りがないよう行った。高齢化に伴う再アセスメントの必要性や健康診断の方法についても見直しが必要。

利用等実績

定員 50名	男	女	計
契約者	33	22	55
実利用	32	20	52
増減	新規0名 退所0名		
年齢層	19～67歳 (平均43.8歳)		
工賃額	平均月額45,857円 (目標月額45,000円)		



令和4年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/1	出発式	39
6/23	歯科検診	38
7/30 -12/17	コロナワクチン接種 (4,5回目)	27
10/7	グランドゴルフ大会	20
9/2 -10/7	内科健診	52
10/21 -11/1	ときめき作品展	3
11/9. 21	インフルエンザ 予防接種	25

コンチェルト

就労定着支援事業

企業へ訪問し利用者と雇用主双方が働きやすい職場となるよう、利用者にはビジネスマナーや仕事の習熟度を確認。雇用主・関係機関には本人の希望(雇用条件の見直し)を伝え、希望が叶った。また利用者が住まいの場を地域に移行。それに伴い、健康面等の相談支援・アドバイスも行い、継続して就労できるよう支援を行った。

企業と利用者との連絡を密にし、悩みや相談があれば解決に向け調整を行い、継続して就労できるよう支援します。

- ①定着率100%の達成
- 訪問(1回/月)し面談
 - 業務内容の確認、合理的配慮の有無

- 定着率100%。退職者0名。コロナ禍ではあったが、企業の理解もあり訪問できた(1回/月以上)。
- 訪問時に雇用契約(業務内容等)の確認。本人の希望する働き方を雇用主に伝え、雇用契約の見直しに繋がった。

- ②他機関との連携
- ジョブコーチと連携することで技術の向上、習熟度の確認
 - 居宅介護支援事業所等と連携し既往症や日常生活、整容等の確認

- △採用担当者と、業務完了報告が正確にできるようチェック表を作成、使用、状況確認を行った。現在も継続中。
- △一人暮らしの利用者に、整容・健康面でのアドバイス、相談援助(ヘルパ-利用の有無等)を行った。

- ③主体的な活動の支援
- 「語ろう会」の開催
 - シフオータイムズの配布

- ×コロナ禍による会の中止。ネット環境等による、オンラインでの開催を検討するも勤務時間等日程調整が難航。次年度は開催できるよう努める。
- シフオータイムズの配布は行うことができた。

令和4年度 事業実績

月日	実施内容	人
5月	語ろう会(中止)	
8月	語ろう会(中止)	
12月	懇談会(中止)	

利用等実績

主な就職先(訪問先)

仕事内容

	利用等実績			主な就職先(訪問先)	仕事内容
	男	女	計		
契約者	3	0	3	ドラッグストア(1件)	商品検品、値付け、陳列等
				医療機関(1機関)	館内清掃、倉庫整理、医療用具の洗浄等
				大型量販店(1件)	商品検品、値付け、陳列等
増減	新規0名 退所1名 (契約満了)				

※コロナウイルス感染の予防により、すべて中止
※シフオータイムズを配布し、相互の情報交換を行った

ファンタジア

地域活動支援センター

感染症対策を徹底しながら、活動を通して日常生活力や社会生活力を再構築していきます。

習慣化した感染症対策を、毎日徹底して行なうことで、職員・利用者ともに対策への意識を維持できた。感染症蔓延のため中止となっていた活動を再開することで、日常生活力や社会生活力を養う場を提供した。

- ① 感染症対策の維持
■ 習慣した対策を守る

○ マスク、手洗い、手指消毒など、職員・利用者が身に付いた感染症対策を忘れることのないよう、職員が見本となり支援に取り組むことで、対策を維持することができた。

- ② 社会生活の練習と実践
■ 社会マナーを理解するための訓練
■ 地域に出て社会生活力を実践

○ 施設外での過ごし方、他者との接し方をフラップボードを使って伝えることで、社会マナーを意識付けすることができた。
△ 買い物活動は行えたが、公共施設や飲食店への外出、公共交通機関を使った活動は、感染症の流行から行なうことができなかった。

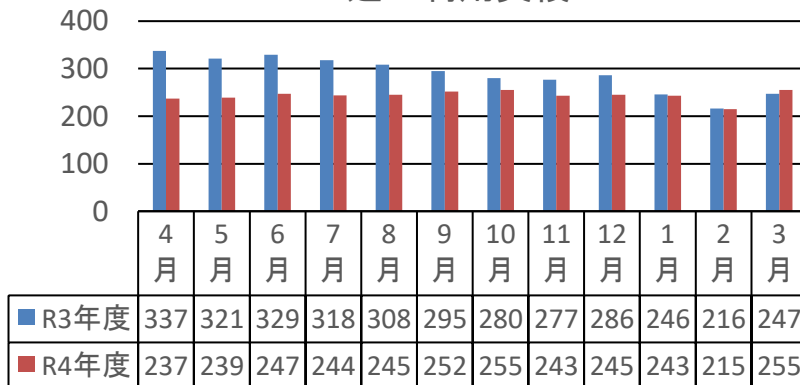
- ③ 活動の見直しによる環境作り
■ 利用者の意欲向上を図るための活動作り

△ 調理実習や施設内でのプール活動といった感染症蔓延以前の活動を行い、利用者の生活力を向上させるための場を提供することに努めた。ただ、新しい活動を実施するまでには至らなかった。

利用等実績

定員25名	男	女	計
契約者	9	11	20
実利用	8	9	17
増減	なし		
年齢層	27～73歳 (平均40.4歳)		
工賃額	平均月額 919円		

延べ利用実績



※R3年度退所者5名(うち4名はファミリー森町へ入居のため退所)
R4年度は増減はなかった。

令和4年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/1	出発式	11
6/23	歯科検診	12
7/30 -12/17	コロナワクチン接種 (4、5回目)	10
10/7	グランドゴルフ大会	10
10/14 -10/24	内科健診	12
10/21 -11/1	ときめき作品展	1
11/9	インフルエンザ 予防接種	6

コンチェルトもりまち

就労継続支援B型事業

就労や生活面での研修を行い、知識・技術を習得するとともに、地域の店舗を利用することで社会性を高めていきます。

就労や生活面では個別に目標を設定することで課題が明確になり、目的意識を持って取り組むことができた。また、地域店舗での外出活動を通し、社会生活力の向上やマナー習得につながった。

①社会生活支援

- 公共交通機関の利用
- 地域店舗利用による社会生活力の向上

- ×コロナ感染防止に配慮し、公共交通機関の利用は控えた。
- 地域店舗でのテイクアウト活動を通し、メニューの選択や金銭の支払いなど、社会生活力の向上を図ることができた。

②就労知識・技術の習得

- 利用者一人ひとりの目標設定
- 治具の作成

- 毎月の利用表に利用者それぞれの目標を掲載することで、目標を意識して取り組むことができた。
- 必要に応じて治具を作成し（シール貼り補助具等）、活用することで利用者の技術力向上や作業の効率化につながることができた。

③コミュニケーション

- 挨拶・返事の練習

- 場面に応じた挨拶の機会を大切にするとともに、マナー研修等を行うことで、挨拶やコミュニケーション力の向上が見られた。

④安定した工賃の支給

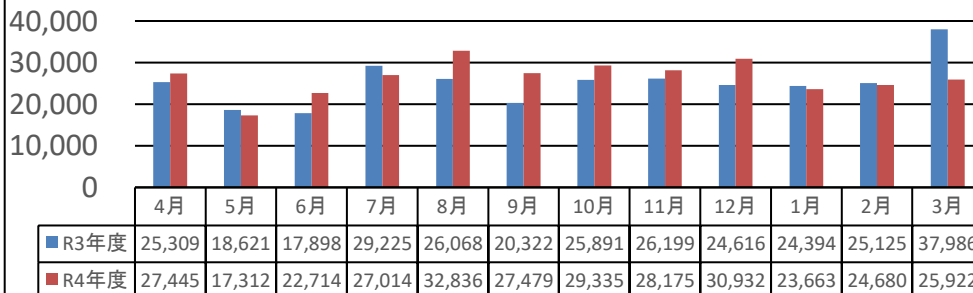
- 平均月額25,000円の支給

- 新しい仕事としてホームの夕食作り（委託業務）に取り組み、利用者は食材の買い出しや調理補助を行った。また、目標を持って取り組むことで目標工賃月額25,000円（26,475円）を達成することができた。

利用等実績

定員	男	女	計
20名			
契約者	6	8	14
実利用	6	8	14
増減	新規0名 退所1名(就職)		
年齢層	21～67歳 (平均41.5歳)		
工賃額	平均月額26,475円 (目標月額25,000円)		

円 工賃(平均月額)実績



令和4年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/1	出発式	12
6/9	歯科検診	9
7/30-12/17	コロナワクチン接種(4,5回目)	12
9/12-	内科健診	12
10/21-10/26	インフルエンザ予防接種	12
10/21-11/1	ときめき作品展	2

ファンタジアもりまち 生活介護事業

感染対策に伴う生活様式を習得するとともに、個々にあった支援を通し、充実した一日を過ごせるよう支援します。

日々の感染対策の経験を積み重ねることで、習慣化を図ることが出来た。また、買い物活動等で感染対策を経験したことで、社会性の向上につながった。ケアシートについては、引き続き情報収集を行いつつ、職員間での共有を図っていききたい。

①社会生活能力の向上

- 感染対策
- 実践（買い物活動）

○毎日の検温・アルコール消毒・ソーシャルディスタンスなど、感染症対策に留意し過ごすことができた。また、マスク着用が苦手な利用者も、着用している時間が少しずつ伸びる等、一定の成果があった。
○外出活動では入店前の消毒やレジ前の順番待ちなど、ルールを守って買い物をすることができた。

②ケアシート（日常生活支援）

- シートの作成と共有

△日常生活支援については、利用者の現在の身体状況や、支援が必要な部分の情報収集を行い、個別のケアシートを作成した。シートを活用し、今後の支援に繋げていく。人によっては内容が不足している部分があるため、情報の更新と職員間での共有を図っていく。今後は社会生活支援についてのシート作成も検討していききたい。

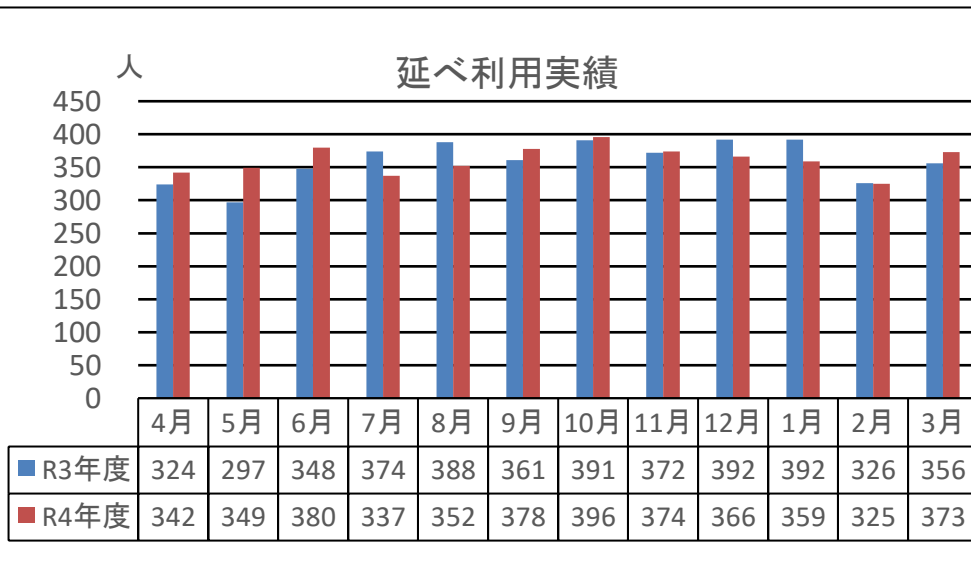
③生産的活動

- 作業班を設けて作業に取り組む

○就労の場の体験を目的とし、一時的に作業室内に作業班のスペースを設けた。いつもとは違う環境の中で取り組むことで、より作業に集中することができ、作業意欲を高めることができた。

利用等実績

定員20名	男	女	計
契約者	14	5	19
実利用	14	5	19
増減	新規0名 退所0名		
年齢層	27~73歳 (平均43.1歳)		
工賃額	平均月額 408円		



令和4年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/1	出発式	15
6/7	歯科検診	15
7/30-12/17	コロナワクチン接種 (4, 5回目)	16
9/12	内科健診	16
10/17-10/20	インフルエンザ 予防接種	14
10/21-11/1	ときめき作品展	4

	R4年度	R3年度
一日平均 利用人数	15.9	16.2
年間利用 延人数	4331	4321

ヘルパーステーション

居宅介護・行動援護・移動支援事業

- ・家庭において、安心・安全に支援します
- ・一人一人の目的に沿った支援をします

- ・利用者の身体状況に応じた支援（医療・通所との連携を図る）支援者全員で共通理解することで支援に関する情報の共有ができ、質の向上に繋がっている
- ・事前に目的を伺い、本人の意向に沿った支援ができた

- ①個別支援会議
■定期的に会議開催

○個別支援会議を定期的に行うことで移動支援時の車椅子使用の有無など支援情報の共有ができ、安心・安全な支援を提供した。

- ②報告・連絡・相談
■支援中、疑問に思うことがあればすぐに上司に連絡・報告、他所属との連携

○支援中に判断に迷った際には、個人で判断せず、すぐに上司に相談して、よりよい支援を提供することができた。

- ③目的に沿った支援
■支援の改善策を考え、相談します

△関係事業所と連携しながら、通所に向けての行動援護利用等目的に応じた必要な支援に取り組んだ
○一人暮らしの方は、健康診断結果を通院時に持参し、医師からの指示をいただき、健康管理に繋げている

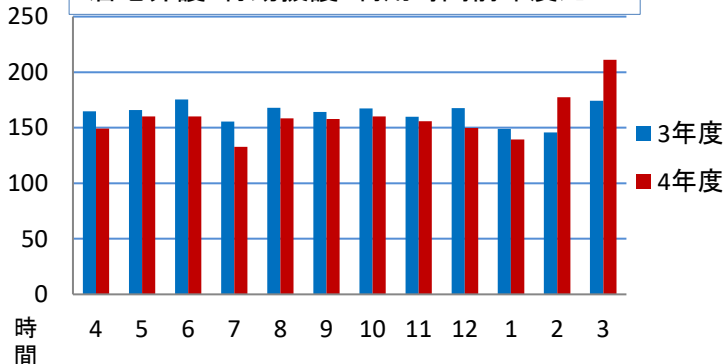
居宅介護・行動援護 ()内前年度増減

	大分市	市外	計	職員配置	
契約者数	40(0)	1(0)	41(0)	管理者	1
実利用数	23(-5)	0(0)	23(-5)	サビ提	1
新契約数	1(+1)	0(0)	1(+1)	介護福祉士	13(+1)
契約終了	1(-1)	0(0)	1(-1)	ヘルパー2級	2(+1)

移動支援 ()内前年度増減

	大分市	市外	計	職員配置	
契約者数	50(-1)	1(0)	51(-1)	管理者	1
実利用数	29(0)	0(0)	29(-1)	サビ提	1
新契約数	1(+1)	0(0)	1(+1)	介護福祉士	12(+1)
契約終了	1(-1)	0(0)	1(-1)	ヘルパー	2(+1)

居宅介護・行動援護・利用時間前年度比



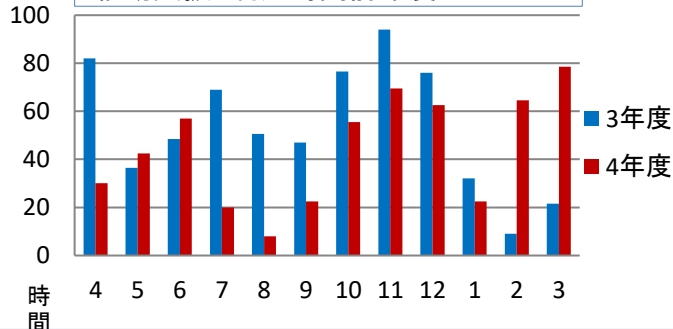
生活に必要なサービス利用のため、年間を通して前年度とほぼ変わらない利用時間だった。2月から身体介護の定期利用者が1名増え増加している。(年間44.75時間減)

コロナ禍における支援のあり方

支援前の体温チェック
手指消毒の徹底
マスク着用して3密を避ける
一人暮らしの方、室内環境の整備
室内温度、換気

重度訪問介護該当者なし

移動支援 利用時間前年度比



コロナ禍により前年度より大幅に減少(年間109.5時間減)。2月以降感染状況が落ち着き、利用も回復してきている。

まーち♪

児童発達支援事業

集団での保育（療育）を通して、児童の発達を促すとともに家族の介護負担の軽減を図ります。

小集団での活動を行っていきながら、幼稚園・保育園への移行を意識した支援を行った1年間であった。まずは母子分離の経験を積むことを大切にし、友達や支援者と過ごすなかで、日常生活動作や集団の中でのルールなど、様々な力を身につけるきっかけにつなげた。

①就園・就学に向けた準備
■日常生活動作の獲得と、社会性を身につけるための支援

- 母子分離の経験を積みながら、友達と一緒に遊びや活動に参加することで、集団の中でのルールなどを意識できるよう支援を行った。
- 一人ひとりの成長に合わせ、食事や排泄面など、日常生活動作における支援も行いながら、小学校や幼稚園、保育園への移行につなげることができた。

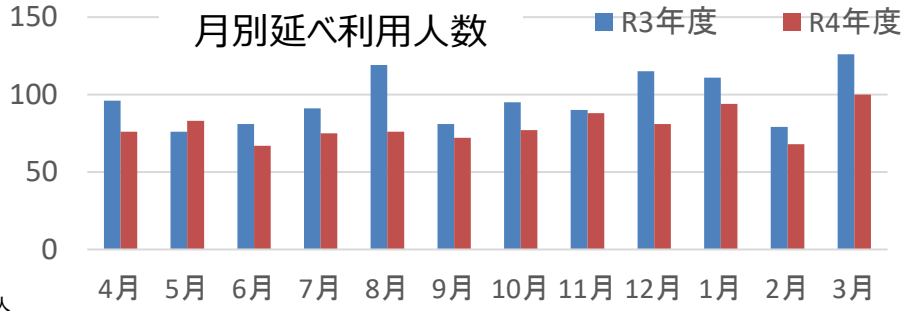
②専門分野を活かしたチーム支援
■職員それぞれの資格と得意分野を活かしたチーム支援

- 手作り玩具や壁面工作など、様々な場面で職員一人ひとりの得意分野を活かしながら案を出し合い、協力したチーム支援につなげることができた。
- 利用児の支援方法や、活動を行う際には、職員同士で統一した支援を行えるよう、意見を出し合うことができた。

利用等実績

定員10名/日	男	女	計
契約者	13	4	17
実利用	11	4	15
利用増減	新規	7名	
	退所	5名	
移行実績	保育園	6名	
	幼稚園	3名	
	小学校	4名	

利用者数は前年度とほぼ変わらなかったが、保育所等との併用利用者増加に伴い、平均利用人数は前年度に比べ減少した。



	R3年度	R4年度
1日平均利用人数	4.4	3.6
年間利用延べ人数	1179	957

令和4年度 事業実績

月日	実施内容	人
4/1	お花見	4
5/31	5月お誕生日会	3
6/24	6月お誕生日会	3
7/30	7月お誕生日会	4
8/6	8月お誕生日会	4
10/7	10月お誕生日会	4
11/9	11月お誕生日会	4
11/19	11月お誕生日会	4
12/5	12月お誕生日会	4
12/23	12月お誕生日会	5
1/10	1月お誕生日会	4
3/30	卒園式	6

コース

障害者相談支援事業・相談支援事業（特定・障害児・地域）

関係機関と協力して、障害のある方とその家族が安心して暮らすことができるよう相談支援を行います

障害のある方とその家族が安心して暮らすことができるよう、必要な支援体制を整えた。今後も緊急時を含めて必要な支援が提供できるよう、関係機関と更なる連携強化を図り、地域づくりに努めていく。

①あんしんコール
関係機関と連携して情報提供等を行いながら、安心して利用できるよう取り組みます

○令和4年度の安心コール相談件数12件
緊急連絡があった際は関係機関（警察・医療・福祉サービス等）と連携し適切な対応を取ることができた。

②相談支援事業所の連携強化
相談支援部会のグループ別意見交換会を通して、地域の課題を抽出し、連携を強化することで解決を図ります

○事例検討会や地区別相談支援部会を通して、相談支援事業所同士の連携を図ることができた。
○重層的な支援が必要な方に対して担当の相談支援専門員と支援内容の検討をしていくことで連携の強化が図れた。

③障害のある方やご家族のお困りごとを解決できるよう、サービス利用などのプランづくりや相談支援を行います（計画相談）

○定期的なモニタリング以外でも、お困りのことがあった際は早急に対応をして、必要なサービスが提供できるようプランの作成を行った。

④地域での生活を始め、安心して続けられるよう支援します（地域定着支援）

常時受け入れる体制はとっていた。しかし、今年度のご利用はなかった。

令和4年度 事業実績

月日	実施内容	回
6/9他	地区別相談支援部会	3
9/9他	事例検討会	3
7/27	大分市居住支援ネットワーク会議	2
2/24他	自立支援協議会	2
6/1他	相談支援部会	4
8/3他	こども部会	2
8/30	こども部会 医療的ケア児支援検討部会	1
毎月	3センター事業所 連絡会	12

利用等実績（委託）

	成人	児童	計
実人員	364	258	622
増減	+26	+70	+96

利用等実績（計画）

	契約者数	作成件数 計画	作成件数 モニタリング
特定	199 (+1)	206 (-17)	482 (-49)
障害児	34 (-4)	38 (-3)	74 (+6)

対応件数 2,972 (+717)

地域 0 (±1)

ファミリー

共同生活援助事業

引き続き、コロナ禍により外出の制限がある中、短時間でのヘルパー利用することで個々に楽しみを持って生活することができた。また入居者の状況に応じて関係機関との連携し、住み慣れたホームでの生活を継続することができた。

入居者の余暇を充実させるとともに、必要に応じて関係機関と連携を図り、安心して生活ができるように支援します。

①健康管理

- 必要に応じた医療機関の受診
- 定期的な歯科通院を行います
- 年齢に応じたがん検診等
- 日々の健康観察

- 定期的な通院支援を行うとともに、突発的な緊急時の夜間受診の対応もを行い、健康に過ごせるよう支援ができた。
- 歯科検診の結果を元に必要に応じて受診を行った。
- ×年齢に応じたがん検診の受診ができなかった。
- 看護師を中心に日々の服薬管理等、健康観察を行った。

②入居者の生活の充実

- 休日の昼食購入等
- 月/1回程度外部講師
- 定期的な帰省・面会・墓参り

- 休日の昼食購入等の職員の支援体制ができた。
- ×引き続き、コロナ禍の状況により外部の講師の委託ができなかった。
- 定期的な帰省・面会の支援ができ生活の充実が図れた。

③高齢化・重度化に対する支援

- 一人ひとりの状態に応じて、必要な場合は関係機関（障害福祉、医師、看護師等）と連携し、安心してホームでの生活が継続していけるよう支援します

- 入居者の状態に合わせて必要な機関（介護保険、訪問看護、重度訪問介護、医師、看護師、市障害福祉課）と連携を図り、住み慣れたホームでの生活を継続することができた。また困った時にすぐに相談できる関係の構築にもつながった。

利用等実績

	中尾	中尾Ⅱ	森町
定員	7	7	14
入居者	4	7	11
平均年齢	53	50	49

- ・ファミリー中尾Ⅱ 7月1名入居。
- ・ファミリー中尾Ⅱ 10月1名退去。
- ・ファミリー森町 12月1名退去。
- ・ファミリー中尾Ⅱ 12月1名入居。

月	延べ利用日数 (前年度増減)	月	延べ利用日数 (前年度増減)
4月	613 (+102)	10月	674 (+76)
5月	627 (+154)	11月	628 (+55)
6月	610 (+136)	12月	653 (+45)
7月	639 (+103)	1月	626 (+24)
8月	661 (+40)	2月	598 (+70)
9月	664 (+47)	3月	642 (+47)
		合計	7635 (+899)

短期入所事業ファミール

短期入所事業

利用者の身体やその状況に応じて入浴、排せつ、食事の介護を支援します

昨年に引き続きコロナ禍ではあったが、必要があれば短期入所の受け入れを行い、一泊ずつでも定期的に利用していただく方が増え、安心してホームで過ごしていただくことができた。

①本人の状態に合わせた生活支援
 ■短期入所時に不安なこと等、気になることは相談を受け、一緒に考えることで安心して過ごせる環境づくりに努めます。

- 月一回、一泊で定期的に利用していただく方や連泊を希望される方も増え、安心してホームで過ごすことができた。
- 短期入所利用時に、困ったことや不安なことを聞いたり、他の入居者と交流する機会を多く設けたことで、安心して過ごす。
- ご家族の状況に応じて短期入所の期間を延長（最大3か月）することで新規利用につながった。

利用定員等

	中尾	中尾Ⅱ	森町
定員	2	1	2
利用延日数	30	87	215
月平均	2.5	7.3	17.9

月	延べ利用日数 (前年度増減)	月	延べ利用日数 (前年度増減)
4月	18 (+9)	10月	39 (0)
5月	19 (+4)	11月	14 (-25)
6月	28 (-29)	12月	19 (-8)
7月	76 (+35)	1月	30 (-11)
8月	22 (+1)	2月	18 (-17)
9月	25 (-9)	3月	24 (-19)
合計		332 (-69)	

療育センターカノン♪

障害児（者）地域療育等支援事業

通所等によるサービス利用が困難な方に対して訪問により療育等を提供することで、障害児（者）の福祉の向上を図ります

講師の協力のもと、感染防止対策に力を入れながら訪問療育活動を行うことができた。保健師等の他職種との連携を図ることができ、必要な方への支援につなげることができた。音楽や絵画の活動のほか、利用者の状況に合わせた療育活動を提供し、今後の生活について一緒に相談することにもつながった。

①利用者一人ひとりの状況や気持ちに寄り添った療育活動の提供

◆今後の生活について一緒に考える

- 活動や通所につなげていくための最初のステップとして、家族以外の人と一緒に話をする、相談する機会を大切にしました。ご本人が無理なく療育の時間を過ごし、生活リズムを整えるきっかけにつなげた。ご本人の状況を見ながら、通所先の情報提供を行ったりと、今後の生活について一緒に考える時間を持つことができた。
- 活動を提供することで体調が少しずつ整い、楽しみながら活動に参加する利用者の姿が見られた。

②訪問療育事業の周知

◆他機関との連携を図ることにより、必要な方に情報が行き届くようにする

- 相談支援専門員や保健師からの問い合わせを多くいただいた1年であった。療育担当者会議等で、本事業の情報共有を行なったことで、特に保健師との連携を図ることができ、必要な方への支援につながった。
- △チラシを新しく作成し、より多くの方に本事業について知っていただけるきっかけ作りが必要。

利用等実績

	男	女	計
実利用人数	1	3	4
平均利用人数	延べ3.8人/月 (昨年度5.2人/月)		
利用増減	増減なし		

延べ利用人数推移

